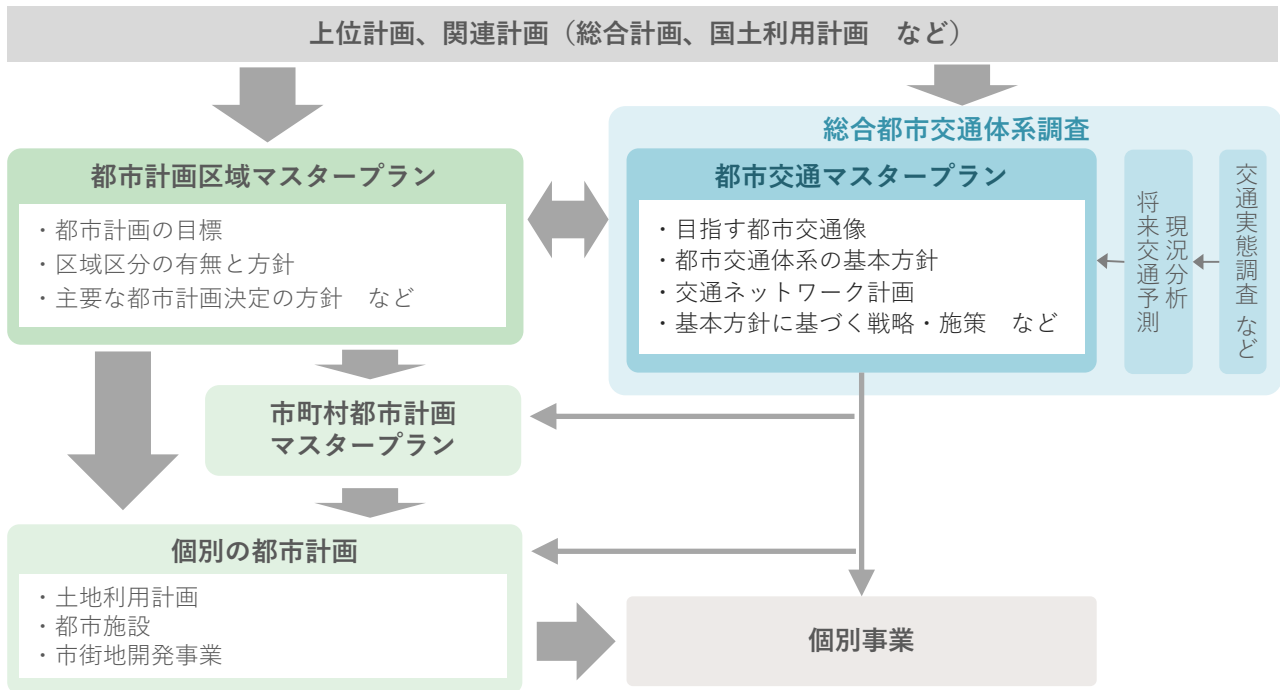


1 調査の概要

1-1 調査の目的

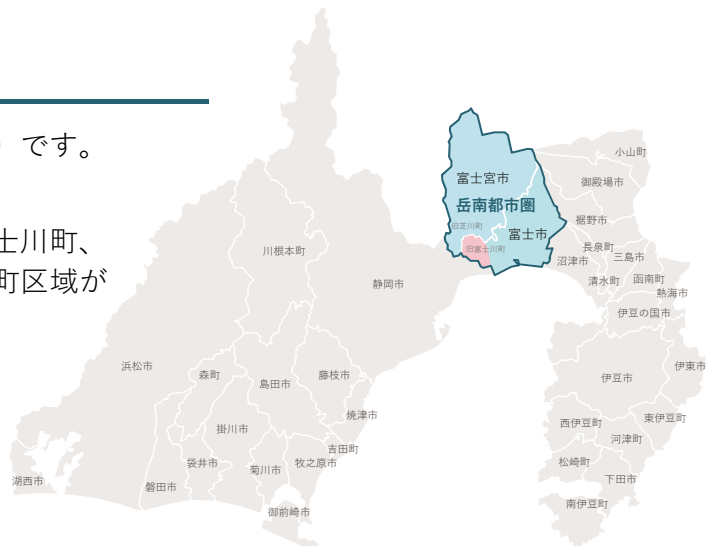
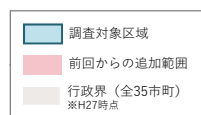
- 総合都市交通体系調査はパーソントリップ調査などの交通実態調査に基づき、都市圏の将来望ましい交通体系を描いた総合的な交通計画である都市交通マスタープランを策定する取組です。
- 岳南都市圏では、平成16年度から平成18年度にかけて実施した前回調査から10年以上が経過し、この間都市圏を取り巻く状況も大きく変化したことから新たな都市交通マスタープラン（目標年次：概ね20年後の平成47年（2035））の策定を目的として実施しました。

【総合都市交通体系調査の位置付け】

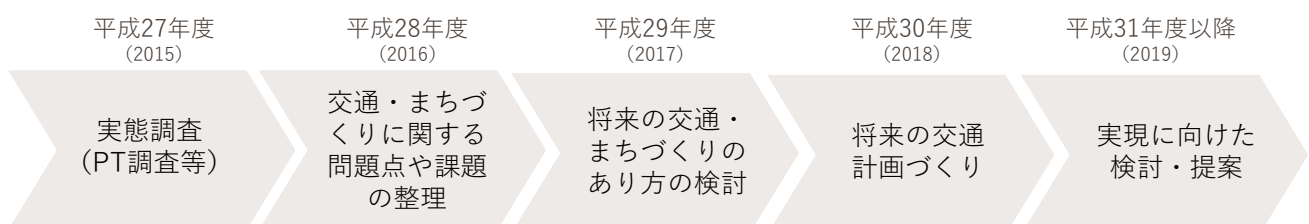


1-2 調査対象地域

- 調査対象地域は、岳南都市圏（富士市・富士宮市）です。
- 対象世帯数約16万世帯（人口約38万人）です。
- 前回調査以降、富士市、富士宮市にはそれぞれ富士川町、芝川町が編入合併したため、今回新たに旧富士川町区域が調査対象地域に加わりました。



1-3 調査の流れ



1-4 交通実態調査の概要

- パーソントリップとは、人（P：パーソン）の動き（T：トリップ）を意味します。
- 『パーソントリップ調査（PT調査）』とは、どのような人が、いつ、どこからどこへ、何の目的で、どのような交通手段で移動したかについて調査し、平日1日の全ての動きをとらえる交通実態調査です。



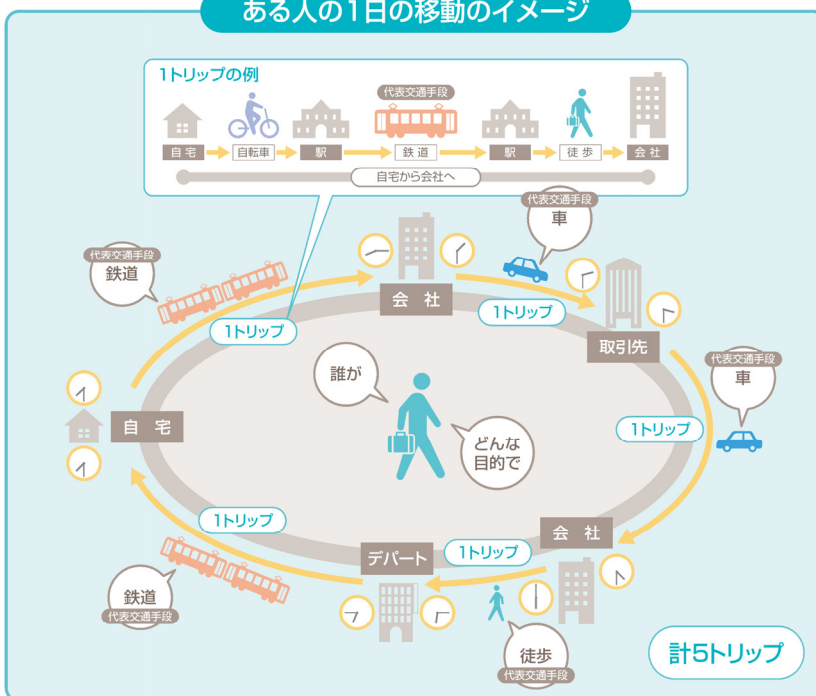
【平成27年度（2015）に実施した第2回岳南PT調査の概要】

調査日	平成27年12月、平成28年2月
調査方法	郵送配布、郵送・WEB併用回収
調査結果	約16万世帯の中から約7万世帯を無作為抽出し 約1.5万世帯（約3.5万人）から回答

👉 トリップとは…

人がある目的を持って出発地から目的地まで移動した場合の1回の動きをトリップといいます。
例えば、通勤という目的で自宅から勤務先へ行った場合には、通勤トリップとして1トリップになります。
また、勤務先から自宅に帰る動きも帰宅トリップとして1トリップになります。

ある人の1日の移動のイメージ



トリップの目的は大きく5つに区分

- ①通勤 | 勤務先へ行ったトリップ
- ②通学 | 通学先へ行ったトリップ
- ③帰宅 | 外出先から自宅へのトリップ
- ④業務 | 販売・配達、打合せ、作業・修理、農林漁業などのトリップ
- ⑤私用 | 家事・買物、食事、通院、娯楽レクリエーションなどのトリップ

代表交通手段とは…

1回のトリップでいくつかの種類の交通手段を用いている場合に、最も優先順位の高い交通手段を代表交通手段といいます。

優先順位は、鉄道、バス、自動車、バイク、自転車、徒歩の順としています。